

特別展

夢はこぼ“かがやき”

— 軌道117年のあゆみ —



写真「小矢部川橋上を走る中越鉄道」(明治33年)

2014年

7月26日(土)～10月13日(月・祝)

入館無料

高岡市立博物館

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日／月曜日(ただし月曜日が祝休日の場合は翌平日)



問合せ先

公益財団法人高岡市民文化振興事業団

高岡市立博物館

〒933-0044 富山県高岡市古城1番5号(高岡古城公園内)

TEL.0766-20-1572 FAX.0766-20-1570 <http://www.e-tmm.info/>



特別展

夢はこぼ“かがやき”

— 軌道117年のあゆみ —

2014年
7月26日(土)～10月13日(月・祝)

高岡市立博物館 **入館無料**

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(ただし月曜日が祝休日の場合は翌平日)

日本国内における初めての鉄道開通は、明治5年(1872)10月14日の横浜-新橋間にさかのぼります。ここ高岡でも明治30年(1897)5月、高岡市黒田-福野間において県内初の民営中越鉄道(現在のJR城端線・氷見線)が開かれ、翌31年には官営北陸線(現在のJR北陸本線)が開通し金沢-高岡間が結ばれるなど、鉄道交通の発達により徐々に人々の暮らしも豊かに、そして便利になっていきました。その一方で、鉄道は単なる交通・輸送手段としてだけでなく、そこに暮らす人々の夢やワクワク感、明日への希望も運ぶものとしても大きな役割を果たしていたのです。

本展では、平成27年春の北陸新幹線開業にあわせて、当館が収蔵する富山県内外の鳥瞰図や地図、鉄道関係資料等を中心に展示し、高岡における中越鉄道の敷設から現在に至るまでの117年にわたる鉄道の歴史を紹介します。



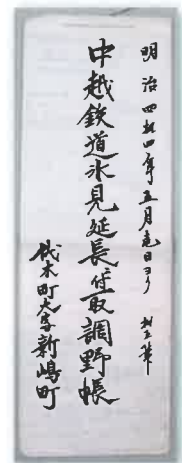
写真「官営北陸鉄道 高岡駅開業」(明治31年)



絵葉書「越中 義経雨晴の全景」(大正7年～昭和7年) 当館蔵



「高岡駅発着汽車時刻表」(昭和6年) 神保成伍氏蔵



「中越鉄道氷見延長に付取調野帳」(明治44年) 高野光子氏寄贈

○講演会「高岡の交通史抄-古代北陸道から新幹線まで-」

日時: 10月11日(土) 午後2時～3時30分

講師: 樽谷 雅好氏(高岡市児童文化協会副会長)

会場: 当館3階講堂

定員: 80名(先着順・事前申込不要) 受講料: 300円

○学芸員による展示説明会(全3回)

日時: ①7月26日(土) ②8月16日(土) ③9月13日(土)

時間: 午後2時～2時40分

会場: 当館1階企画展示室

受講無料(事前申込不要)



各種記念切符(昭和期) 当館蔵



■問合せ先

公益財団法人高岡市民文化振興事業団

高岡市立博物館

〒933-0044 富山県高岡市古城1番5号(高岡古城公園内)

TEL.0766-20-1572 FAX.0766-20-1570 <http://www.e-tmm.info/>

■交通のご案内

北陸自動車道小杉I.C.より約25分

能越自動車道高岡I.C.より約20分

